

## 国語（第3回）

			得点率(%)	平均点	配点
1 説明文	問1		63.3	3.2	5
	問2		11.9	0.4	3
	問3		57.1	4.6	8
	問4		96.9	7.8	8
	問5		32.3	1.0	3
	問6		14.4	1.2	8
	問7		88.0	8.8	10
	問8		50.4	2.5	5
				29.3	
2 物語文	問1		77.6	7.0	9
	問2		99.0	4.9	5
	問3		57.1	5.1	9
	問4		41.2	1.6	4
	問5		51.8	4.7	9
	問6		39.3	2.0	5
	問7		90.2	3.6	4
	問8		52.9	2.6	5
				31.6	

### 第3回国語入試問題解説

#### 一 森博嗣『科学的とはどういう意味か』

問一 筆者のいう「科学的」という言葉の意味を答える問題です。「実験によってどのようなことを証明すればよい」か、という問いかけですので、実験・証明をキーワードに文章を読み進めていくと、2頁下段113～117行目に真空中での物体の落下実験について書かれていることに気づくでしょう。ただ、これは解答としてあまりに具体的過ぎるので、もう少し抽象化した表現として直後の2頁下段118、119行目の「数々の条件下でも同傾向の結果がえられること」の部分で答えを作成します。なお「どのようなことを証明すればよいですか」と問われていますので、文末は「～こと。」となります。正答率は約63%でした。

問二 空欄部分を周囲の文脈から判断して補う問題です。空欄に続く部分を読むと「で考えれば、明らかに損だ」とあることから、「損」と対になる言葉を組み合わせた熟語であると考えられます。答えは「損得」です。正答率は約11%でした。

問三 筆者が実験を必ずしも科学的ではないという理由を答えさせる問題です。この説明をした部分としては2頁上段78～81行目と2頁下段108～112行目があるので、これをまとめて答えを作成します。両方に共通する内容として「条件の設定で勘違いや間違いはある」そして「測定や分析にも不正は混ざる」という2点を盛り込みます。また、理由を問う問題ですので、文末は「～から。」となります。正答率は約57%でした。

問四 接続語を選ぶ問題です。大変よく解けており、正答率は約96%でした。

問五 脱文補充の問題です。

「だが」という逆接から始まっているので、直前部分とは反対に科学的な内容であること、そして「身近なところに非科学的な事例は沢山ある。」とあるので、直後には身近で非科学的な具体例が挙げられているであろうことが分かります。1頁上段23行目「数々のダイ」がこの条件に合致します。正答率は約32%で

した。

問六 筆者の科学の定義を問う問題です。

意見のまとまった部分を探すと、2頁上段66～74行目の「他者による再現性を基に科学的な考察がなされる」、そして下段118～123行目「実験を多くの人が試み、数々の条件下でも同傾向の結果が得られるようになる。次第に精度も高まってくる。高精度になるほど、結果も仮説に近づくようだ。そういった結果を総合して、その仮説がどうやら正しいという認識がだんだん生まれてくる。」があります。これらをまとめて解答を作成します。「様々な現象を説明する仮説」と「他者による再現性に基づいて証明しようとする」という2点が必要です。条件のとおり、この問題の書き出しは「科学は」ではじめてください。正答率は約14%でした。

問七 漢字の書き取り問題です。楷書で丁寧に書いてください。大変よくできており、正答率は約88%でした。

問八 内容一致問題です。

アは「信用できない」は言いすぎです。ウは「白黒をはっきり決めるべきだ」が2ページ下段66行目と矛盾します。エは「まず1度超能力や幽霊の存在を信じるところから始めるべき」とは言っていません。よって答えはイです。正答率は約50%でした。

☐ 朱川湊人『オルゴール』

問一 ハヤトが鹿児島に興味を持った理由を問う問題です。4頁上段20～25行目の内容をまとめ、「トンダじいさんに鹿児島へ持っていくと約束したオルゴールを持っている」そして「もしサエさんが鹿児島に行くならオルゴールを託したい」という2点をまとめて解答を作成します。理由を説明する問題なので、文末は「～から。」となります。正答率は約77%でした。

問二 慣用句に関する問題です。正答率は約99%でした。

問三 「何だか胸のあたりがチクチクした。」のは、ハヤトが罪悪感を抱えたまま周囲の大人にそれを言えずにいることを表しています。罪悪感を抱える理由をとして4頁下段55、56行目の「本当はゲーム機を買うお金目当てでトンダじいさんの頼みを聞いた」という内容を、周囲にそれを言えない理由として4頁下段52行目「サエさんとミチコさんが感激している」という2点をまとめて解答を作成します。理由を説明する問題なので文末は「～から。」とします。正答率は約57%でした。

問四 父親の心情を問う問題です。

アは「普段の生活を共にしていないため、叱りつけることをためらっている」という内容が本文中にはありません。イ「半ば諦めている」とありますが、この内容も本文中からは読み取ることができません。エ「人のよさを受け継いだ息子を誇らしく思い」という部分も、本文中からは読み取ることができません。よってウを選びます。正答率は約41%でした。

問五 ハヤトの心情を問う問題です。

傍線部前後の表現から、悲しくなった直接の原因は5頁下段にある一連の父親の言葉であると分かります。なぜ父親の言葉だったのかと考えると、6頁上段135行目「自分は、父さんを尊敬していたんだ。」という表現があります。よって、解答を作成する際は「ハヤトは会社の悪事を告発した父親を尊敬していた」にもかかわ

らず、「その父親に約束を破ることをすすめられた」ことで「裏切られたような気持ちになった」という3点をまとめればよいということになります。理由を説明する問題ですので、文末は「～から。」となります。正答率は約51%でした。

問六 内容一致問題です。

イの「ガーゼのハンカチやオルゴールといった象徴」という表現は全く無根拠です。ウは「時間や場所を自由に行き来しながら」とありますが、基本的に時間や空間の移動はありません。エに書かれている手法は特に用いられていません。よってアを選びます。正答率は約39%でした。

問七 内容一致問題です。

アの内容は本文中から読み取ることができません。ウ「間違っていることはたとえ年上でも指摘する」は本文中から読み取ることができません。エ「思った通りにならないとすぐ涙がこぼれてしまう」は5～6頁のハヤトの深い悩みの描写に矛盾します。よってイを選びます。正答率は約90%でした。

問八内容一致問題です。

アの「ハヤトの存在が煩わしくなった」は不適當です。イ「ハヤト自身を除くと一人しかいない」とありますが、シンジロウとトンダじいさんの二人なのでこれも間違いです。エ「周囲にそそのかされた」とありますが、6頁上段145～151行目にもあるように、これだけを理由にするのは間違っています。よってウを選びます。正答率は約52%でした。